

③ 解讀文

今度私儀在所江之

御暇被 下置候、未男子

無御坐候、若於在所不慮之儀

御坐候者、私分知同姓吉之助儀、

当午十二歳罷成候、此者養子

被 仰付、跡式被 下置候様

奉願候、以上

寛政十戊午年

四月十九日

津輕越中守 (花押)^印

松平伊豆守殿

戸田采女正殿

太田備中紙殿

安藤対馬守殿